

会 議 概 要

会議の名称	平成29年度第2回図書館協議会会議
開催日時	平成29年9月28日(木) 10時～11時40分
開催場所	湧別図書館 多目的室
出席者名	部会委員～内野委員長、菊地副委員長、木下委員、田中委員、 菊地得典委員 オブザーバー～宮澤委員長、石垣副委員長 教育委員会～田中館長、高橋係長、北村係長、茂利主任
欠席者名	野田委員
傍聴人の数	なし
会議の内容	(関係部分のみ抜粋) ・第2次社会教育中期計画第4専門部会 図書館活動の推進目標・推進項目について
会議資料	会議議案
会議録	■ 有 (<input type="checkbox"/> 全文筆記 ■ 要点筆記) <input type="checkbox"/> 無
備考	

結果要旨

○内野委員長挨拶

○議案第1号～議案第4号 省略

○議案第5号 社会教育中期計画について（説明：高橋係長）

- ・第1回会議で協議された「現状と課題」をふまえ、事務局案を元に「推進目標と推進項目」について協議することにしたが、委員より「現状と課題」の文章全体が硬く「学習の場」としての図書館が強調されすぎているのでは、との意見が出された。
- ・その意見を受けて、北村係長より、第1回会議で協議した「現状と課題」に基づいた新たな文案が検討資料として提出された。協議の結果、提出された検討資料の文言を整理した上で、新たに「現状と課題」として採用することにした。

・改めて「推進目標と推進項目」の協議に入り、オブザーバーである社会教育委員長、副委員長から、湧別・中湧別の2図書館体制の維持を推進項目に盛り込むべきとの意見が出された。協議の結果「両館の持つ特徴を活かした展示やイベントの実施」「子どもや高齢者等の移動手段の限られた町民に向けて読書環境を提供する」ことをアクションプランに盛り込むこととした。

○閉会

第7節 図書館活動の現状と課題・推進目標・推進項目

【図書館活動の現状と課題】

現在、社会は目覚しく変化し、技術の革新も急速であるため、日常生活を送るためには、絶えず情報収集と学習が必要となっています。日々の生活の中で、自己判断・自己責任が求められる状況の中、適切な判断を行うには、その材料となる情報の収集が必要です。また、子どもの生きる力を養う教育が重視され、合わせて知の源泉である読書を支える重要な社会基盤として図書館が果たす役割は、年々高まっています。

そのような社会環境において、図書館活動は、貸出サービスを中心としながら、資料の収集と保管や、学校をはじめとする教育施設、保育所・児童センター及び福祉施設等の団体と連携し、読書活動を推進することが必要です。さらに、乳幼児期に正しい日本語による言葉を習得することは豊かな言語感覚を見につけることにつながり、子どもたちにとっての読書は、想像力や心の豊かさを育むとともに、論理的思考力を発達させるために大きな役割を果たします。

このことから児童の読書環境の整備のための「子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもの健全な発達と学習の機会を提供することが重要です。

インターネットの普及によって、公開されている膨大な情報量の中から、正しい情報を選択し、活用する事は年々難しくなっていますが、知識や情報元としての本や雑誌の役割は、決して低下することはありません。図書館では、読書活動を支援するために、司書の専門性を活かした適切なアドバイスや、おすすめ本の展示を行っています。図書館の持っている機能について理解を広めることが求められています。

中湧別図書館と湧別図書館の2館と移動図書館車の巡回による広域な図書館活動により、利用する方にとって利便性の高い運営体制が構築できています。全蔵書は、図書館システムで一括管理され、相互に蔵書情報を確認することが出来ます。また、各地域の移動図書館車の貸出ステーションにおいて、配本や団体貸出を実施する等により、来館の難しい方への支援を実施しております。

各種図書館事業の実施の際には、ボランティアの皆さんの協力が不可欠となっています。ボランティア活動の支援を行いながら、幅広い世代に利用される図書館の整備に努めなくてはなりません。

<今後の課題>

- 計画的な図書館資料の収集を行うため、適切な蔵書構成の維持管理が必要です。
- 中湧別図書館・湧別図書館の両館が、住民の学習環境として、また憩いの空間として充実をはかることが必要です。
- 学校図書館との連携が必要です。
- 住民が膨大な情報を正しく活用するための図書館機能の整備が必要です。
- 貸出ステーションの見直しと、図書館に来館の難しい利用者に対し、宅配サービス等の検討が必要です。

(推進目標と推進項目)

図書館活動 推進目標	読書は心の栄養剤・図書館は町民の憩いの場
---------------	----------------------

項 目	課題解決のための方策
図書館資料の収集、 整理保存	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民の読書傾向をふまえ、新鮮な図書購入に努めます。 ● 郷土資料の収集と分類整理を推進します。 ● 多様な資料を収集し、中湧別図書館と湧別図書館、並びに移動図書館における蔵書構成の維持管理に努めます。
利用促進、 読書機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 読書の喜びを伝える魅力的な展示を行います。 ● 図書館が気軽に集える空間としての環境を整備します。 ● 図書館システムの更新を行い、図書館資料の適切な管理と利用者の利便性を高めます。 ● 来館の難しい町民に向けての読書環境を整備します。
地域社会との 交流・団体活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 適切な移動図書館車運行を実施し、町内全域に向けて読書活動を推進します。 ● 町内施設・団体との交流、読書活動を推進します。 ● 町内施設・団体を窓口に、図書館資料を活用した読書活動を推進します。
連携・ ネット ワーク	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校をはじめとする教育施設との連携。 ● 保育所、児童センターをはじめとする保育・福祉施設との連携。 ● 家庭教育の関係団体との連携。 ● 「子どもの読書活動推進計画」による読書環境の整備。 ● 図書館情報の発信。 ● 図書館ボランティアとの連携。 ● ネットワークを活用した図書館間の連携。

第7節 図書館活動の現状と課題・推進目標・推進項目

【図書館活動の現状と課題】

現在、私たちの社会は生活を彩る様々な情報と、その情報を扱う様々なメディアにあふれています。また、インターネットやゲームの普及、娯楽の多様化が日々驚異的な速さで進展し、あらゆる世代の「読書離れ」が危惧される状況です。

幼少期から心を育てる環境整備が急務といえます。

国は読書の持つ計り知れない価値を認識し、子どもの読書活動に対し様々な支援を行ってきました。本町も平成30年度、「湧別町子どもの読書活動推進計画」を策定し、町をあげての読書活動の推進に取り組み始めたところです。

今、あらためて読書の重要性が見直され、読書活動を支える社会基盤として「図書館が果たす役割」は、ますます高まってきています。

図書館活動は貸出サービスを中心に、中湧別図書館、湧別図書館の2館、移動図書館車の巡回による広域サービスを実施、あらゆる場所で本を手に取り、自宅で読書できる環境整備に努めています。また、貸出サービスの根幹となる図書館資料収集・整理・保存についても、常に新鮮で適切な蔵書管理に努めており、約14万冊もの図書館資料は図書館システムで一括管理されています。

学校をはじめとする教育施設、保育所、児童センター等の保育・福祉施設、家庭教育の関係団体とも連携し読書活動の推進に努めています。

また、図書館では、図書館司書の専門性を活かした読書活動へのアドバイス、図書館事業の開催、関係団体との連携・支援に努めています。

更に各種ボランティアとも連携を図り、町の読書活動の推進に向け取り組んでいるところです。

<今後の課題>

- 新鮮な図書館資料の収集、適切な蔵書構成の維持と管理が必要です。
- 中湧別図書館・湧別図書館の両館が、町の学習拠点として、また憩いの場として充実を図ることが必要です。
- 学校をはじめとする教育施設との連携が必要です。
- 保育所、児童センターをはじめとする保育・福祉施設との連携が必要です。
- 家庭教育の関係団体との連携が必要です。
- 湧別町子どもの読書活動推進計画の実現が必要です。
- 貸出ステーションの見直しが必要です。
- 図書館に来館の難しい利用者に対し、宅配サービス等の検討が必要です。

(推進目標と推進項目)

図書館活動 推進目標	読書は心の栄養剤・図書館は町民の憩いの場
---------------	----------------------

項	目	課題解決のための方策
人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる	図書館資料の収集、 整理保存	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民の読書傾向をふまえ、新鮮な図書購入に努めます。 ● 郷土資料の収集と分類整理を推進します。 ● 多様な資料を収集し、中湧別図書館と湧別図書館、並びに移動図書館における蔵書構成の維持管理に努めます。
	読書促進、 利用促進、 読書機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 読書の喜びを伝える魅力的な展示を行います。 ● 湧別、中湧別2館それぞれが持つ特徴を活かした展示やイベントを行います。 ● 図書館が気軽に集える空間としての環境を整備します。 ● 図書館システムの更新を行い、図書館資料の適切な管理と利用者の利便性を高めます。 ● 来館の難しい町民に向けての読書環境を整備します。 ● 移動手段の限られた子どもや高齢者の読書機会を提供する湧別、中湧別2館体制の充実を図ります。
	地域社会との 交流・団体活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 適切な移動図書館車運行を実施し、町内全域に向けて読書活動を推進します。 ● 町内施設・団体との交流、読書活動を推進します。 ● 町内施設・団体を窓口にも、図書館資料を活用した読書活動を推進します。
	連携・ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校をはじめとする教育施設との連携を図ります。 ● 保育所、児童センターをはじめとする保育・福祉施設との連携を図ります。 ● 家庭教育の関係団体との連携を図ります。 ● 「子どもの読書活動推進計画」により、子ども達の読書環境を整備します。 ● 広く図書館情報を発信します。 ● 図書館ボランティアとの連携強化に努めます。 ● ネットワークを活用した図書館間の連携を図ります。